学力(資質・能力)向上アンケート結果

校長　新保喜和

　3～6年生が、5月中旬に行った学力(資質・能力)向上アンケートの結果です。結果についてご家庭でもお話などしていただき、今後にいかしてください。
　1・2年生は今後の参考にしてください。

アンケート結果より

　学力(資質・能力)向上アンケートを今年度４回(5 月、7月、11月、2 月)行い、「授業の理解度」や「授業で大切にしていること」「家庭学習」「学校生活」について確認を行い、改善を図っていく予定です。

　今回は、全学年とも「授業の理解度」「授業で大切にしていること」について、肯定的な回答が多く、まだ学年が始まった段階で難易度の低い学習内容ということもありますが、進級し、学習意欲が増し、良い結果となったと考えられます。

「学校生活」についても、ルールを守り、友だちを大切にしようとする子が多く、規律正しい学校生活が送られています。毎日授業を観ていてもそう思いますし、教育委員会の方などが来られた時も同様の感想をいただいています。

「家庭学習」については、どの学校でも課題になっており、アンケート項目の「13～17」の伸びが、今後の本校の学習の鍵となります。アンケート項目を参考にし、宿題の以外の学習も毎日、自分から進んでできる「きんやっこ」になってほしいです。

学力(資質・能力)向上の鍵は「生活習慣」や「学習時間と質」「自主学習」「自己肯定感」

　文部科学省のデータや、これまでの勤務校などで行ってきたアンケート結果から、「生活習慣」や「学習時間と質」「自主学習」「自己肯定感」などが、学力(資質・能力)向上にたいへん関係があると言われ、そう思っています。特に、規則正しい「生活習慣」と「学習時間」の確保、「自主学習」が学力(資質・能力)向上のポイントです。

「自主学習」や「学習時間」の確保については、今後もアンケートでそれぞれ「家で、宿題以外の勉強(復習や自学自習)をしている割合」と「月～金で、授業時間以外に、1日1時間以上勉強している割合(塾や家庭教師含む)」で確認していきます。

　「学習時間」については、高学年は毎日１時間以上を、低・中学年は1時間程度の確保は難しいかもしれませんが、高学年に向けての準備としてぜひ意識していただきたく思います。

　ご家庭のご協力をよろしくお願いします。